

千葉商工会議所景気動向調査

令和4年11月調査結果

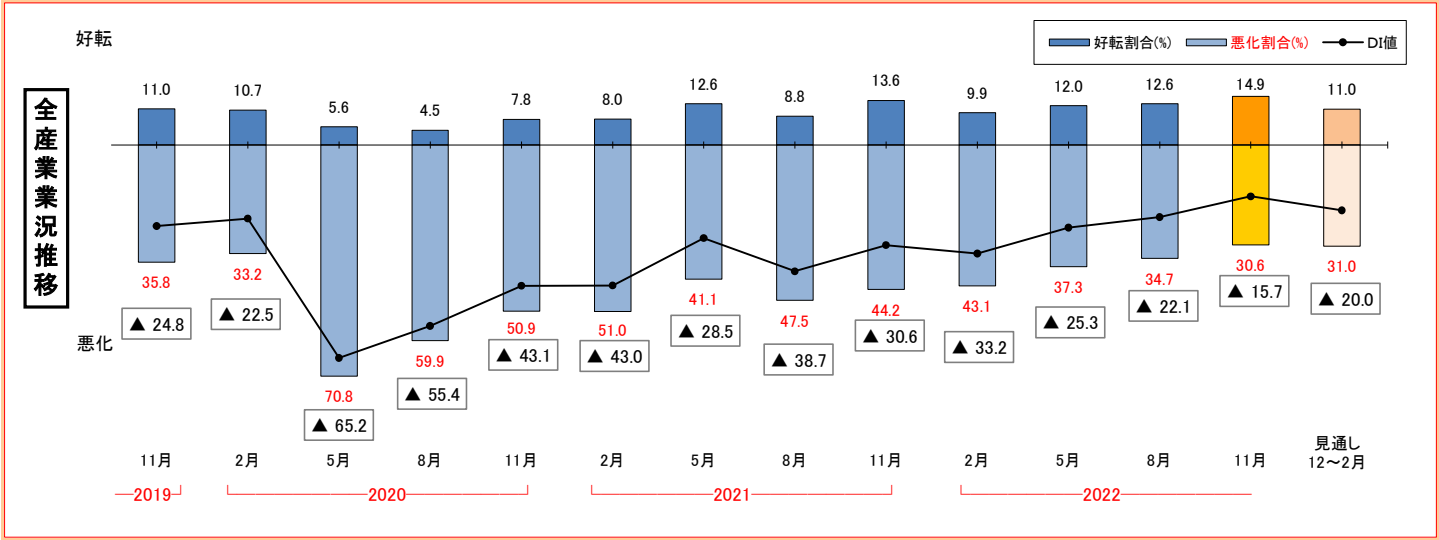
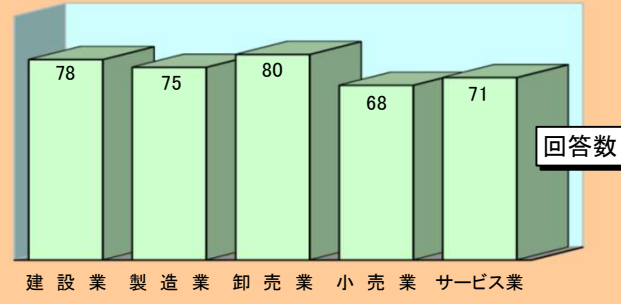
令和4年12月

千葉商工会議所

千葉商工会議所景気動向調査 ……令和4年11月調査結果報告……

調査期間：令和4年11月7日(月)～11月29日(火)
調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(回答 372社 回答率 74.4%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。
DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



【全体の特徴】

(▲はマイナス)

業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(令和4年8月、以下同じ)と比較して、サービス業が下降し、建設業、製造業、卸売業が上昇、小売業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは6.4ポイント上昇して▲15.7となり、3期連続の改善となった。

また、向こう3ヶ月(12月～2月、以下同じ)の先行き見通しは、建設業、製造業、卸売業が下降し、小売業が上昇、サービス業が横ばいの見込みとなっており、全産業合計DIは現状より4.3ポイント下降の▲20.0となっている。

売上DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、卸売業、小売業が上昇、サービス業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは8.4ポイント上昇して1.6となり、3期連続の改善となった。

採算DIでは、前回調査と比較して、小売業、サービス業が下降し、建設業、製造業、卸売業が上昇した結果、全産業合計DIは9.1ポイント上昇して▲24.7となり、2期ぶりの改善となった。

仕入単価DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業が下降した結果、全産業合計DIは▲81.5となった。

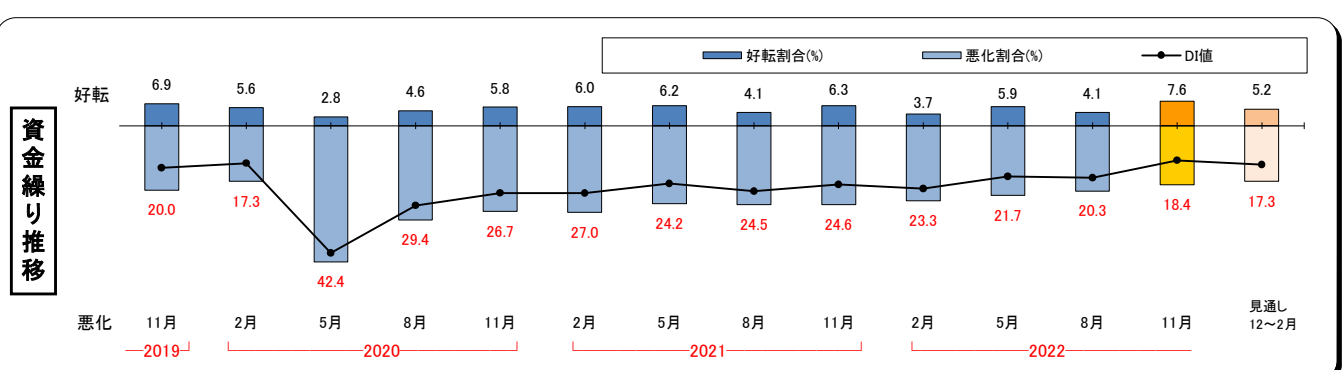
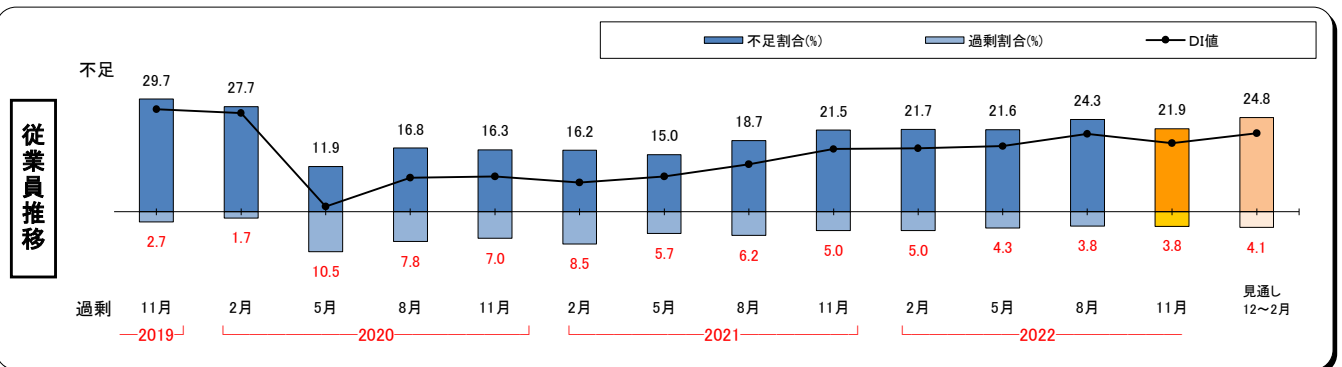
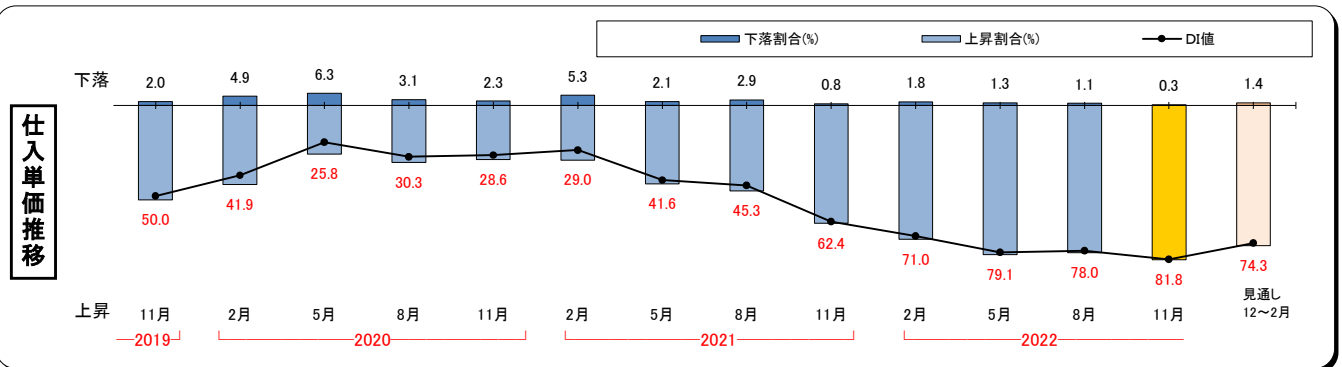
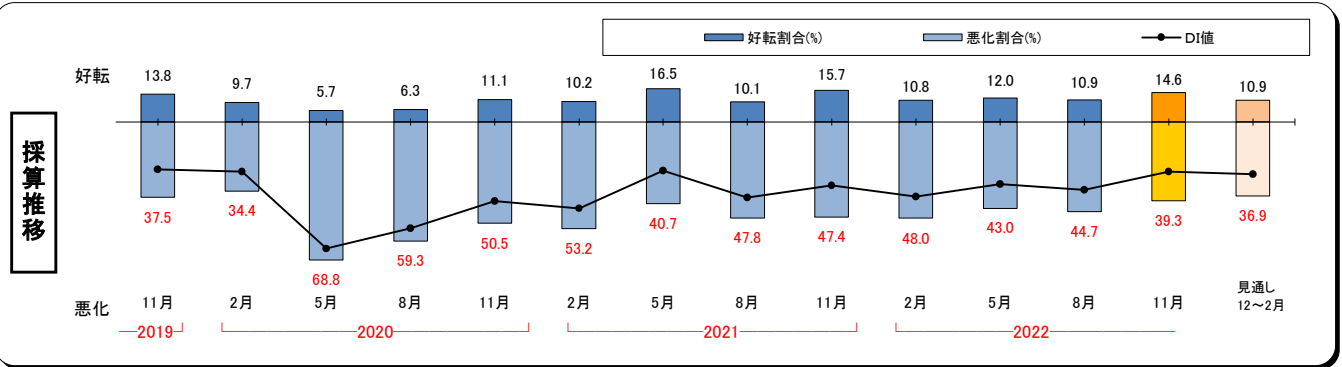
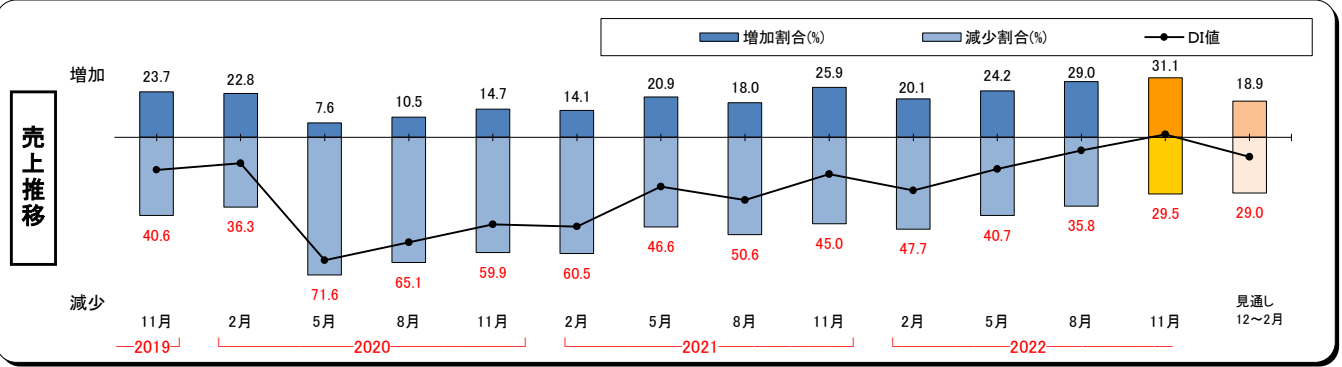
従業員DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業が下降し、卸売業、小売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは18.1となり、2期ぶりの改善となった。

資金繰りDIでは、前回調査と比較して、製造業が下降、建設業、卸売業、小売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは▲10.8となった。

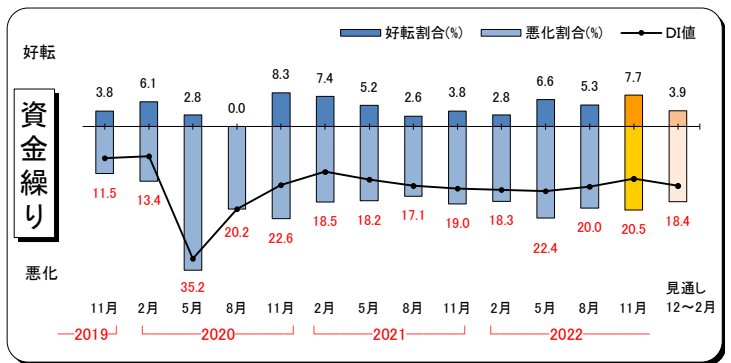
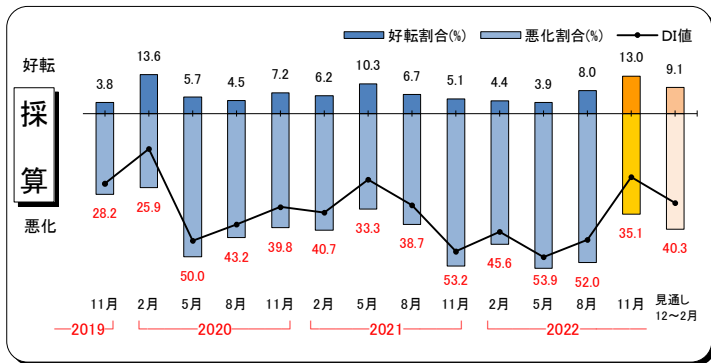
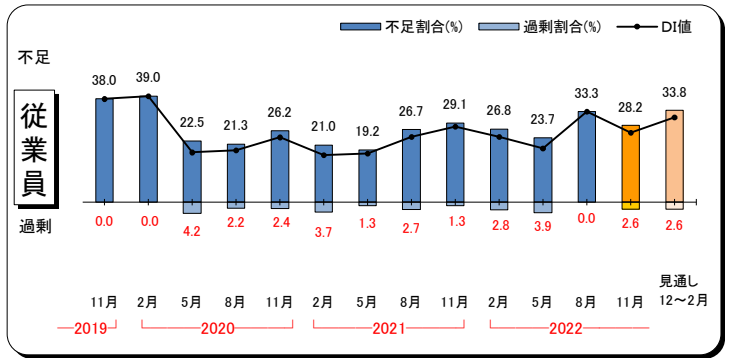
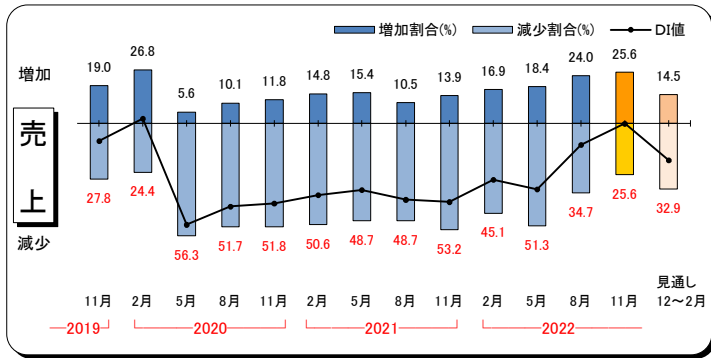
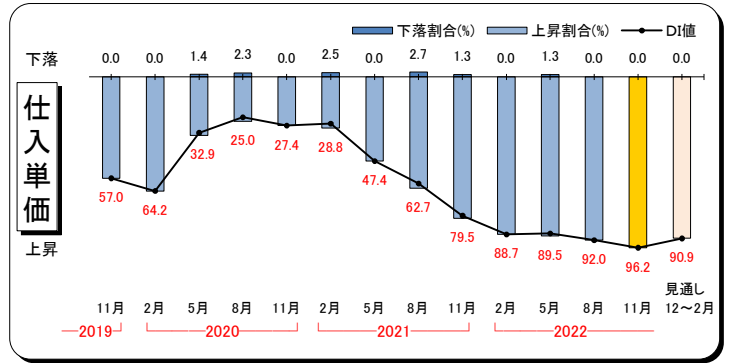
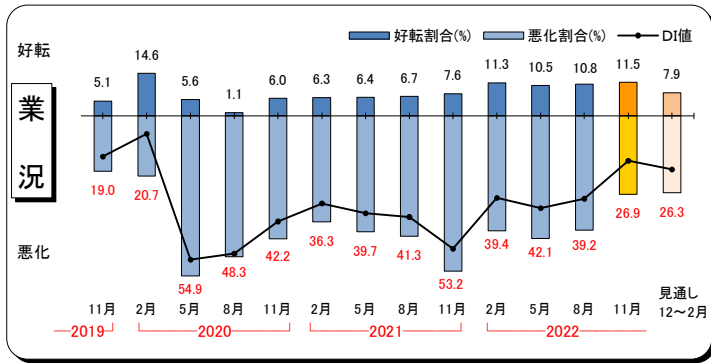
【調査結果のポイント】

- ・業況DIは3期連続の改善となり回復基調にあるものの、感染再拡大への懸念もあって先行き見通しは悪化
- ・原油・原材料価格等の高騰により、仕入単価の悪化が続いている
- ・設備投資実施企業は約6割と前年同水準となった

【全産業】



【建設業】①

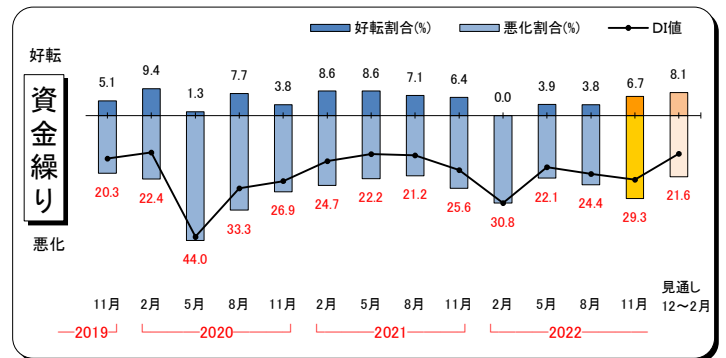
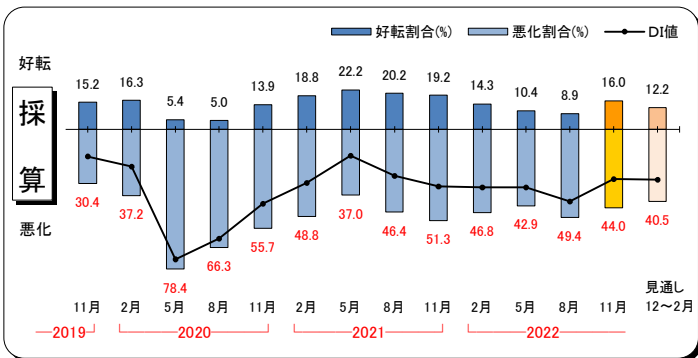
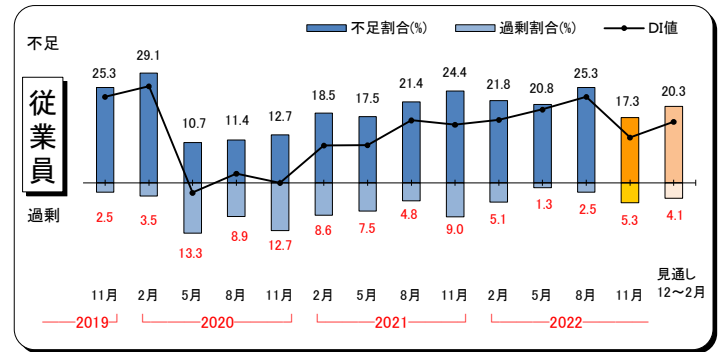
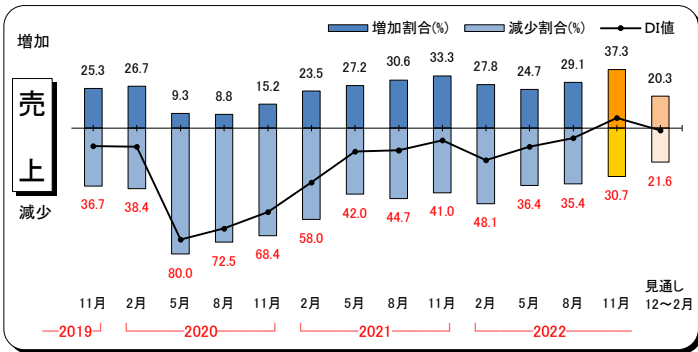
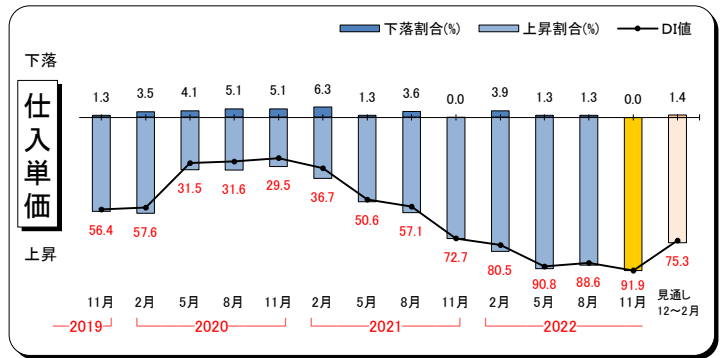
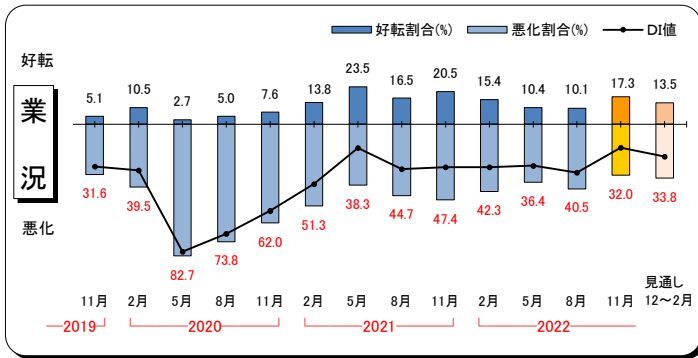


【建設業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

| | |
|---------|--|
| 土木建築工事業 | 各補助金・助成金の申請の簡略化。 |
| とび工事業 | 物価高騰による各種値上がりが影響している。運搬コストや工事稼働時の燃料使用による廃棄処理単価が特に大きい。また、産廃の品目の中でコンクリートガラなどの再生品が消費されない影響もあり、その分、遠方の処理場へ持ち込みを余儀なくされ、その運搬コストが売上原価へ影響している。また、その負担を売上に反映できないのが痛い。国や行政においてその負担を軽減できる方法が無いものか是非検討してもらいたい。 |
| 板金工事業 | 建設業界の価格競争の激化により、仕事不足になり、どうにかしたい。 |
| 内装工事業 | 度重なる材料の仕入れ値の上昇と、材料不足、急な顧客の購入控えにより、資金繰りが大変な状況。 |
| 防水工事業 | 物価の高騰で工事原価はもちろん、水道光熱費や人件費も上がっている。しかし、原価高騰分をゼネコン等に転嫁することは我々中小企業にとっては難しい。そのため、今回の決算は前回と比較して営業利益が半分ほどまで落ち込んでしまった。 |
| 信号装置工事業 | 補助金の拡充による、中小企業支援等を希望。 |
| 管工事業 | 仕入価格の高騰が止まらない。工場床下補強工事に対する支援が欲しい。 |

【製造業】①

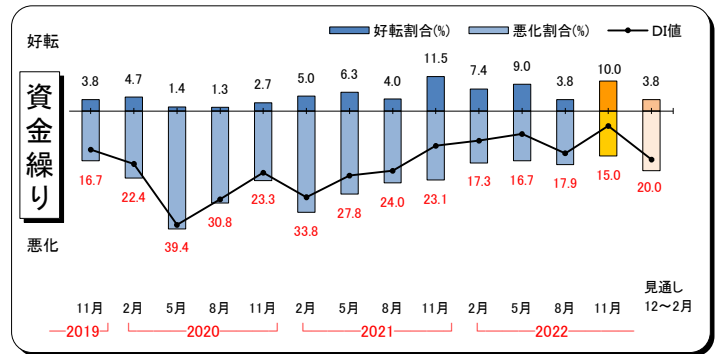
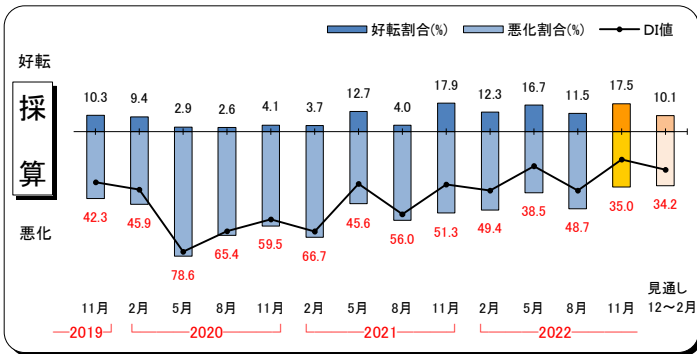
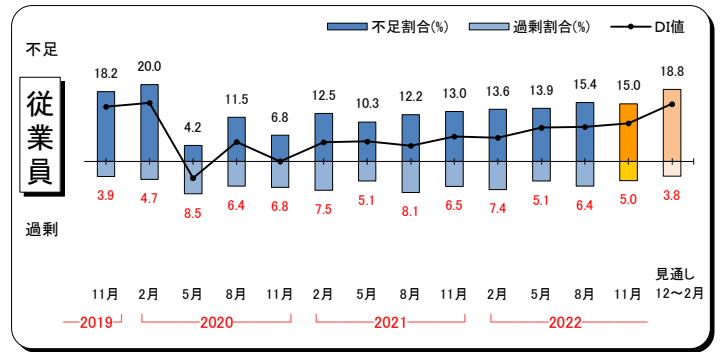
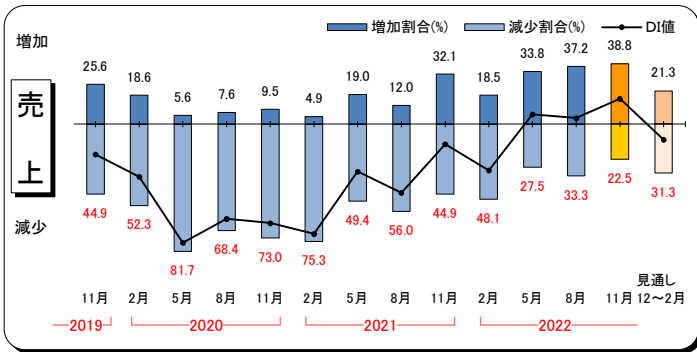
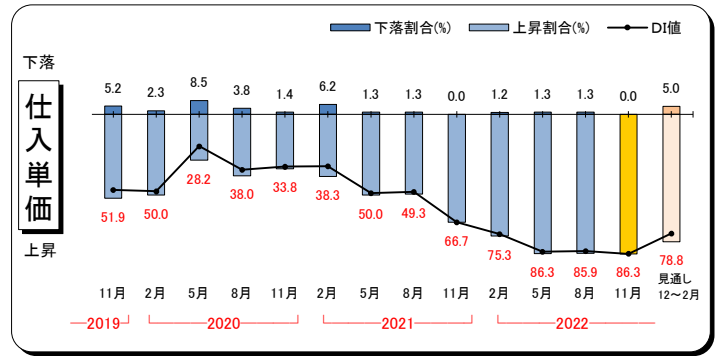
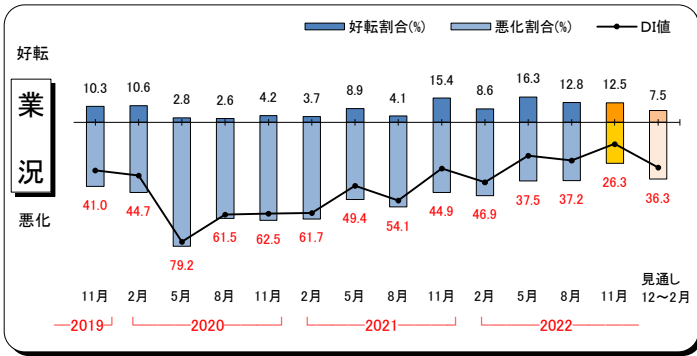


【製造業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

| | |
|--------------|---|
| その他の精穀・製粉業 | 原材料高騰への対策。 |
| オフセット印刷業 | 消費税を廃止して欲しい。 |
| オフセット印刷業 | 物価上昇で仕入単価が何度も値上げされている。 |
| オフセット印刷業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により経営悪化が続いている。事業規模を縮小せざるを得ない。 |
| オフセット印刷業 | 物価高騰に対する緊急対策を早期に実施して欲しい。 |
| 化学工業製品製造業 | サブコンやゼネコンによる公平な取引条件の契約ができないケースがまだまだ見受けられる。建設業界への取引条件についての調査を希望する。 |
| 生コンクリート製造業 | 千葉県、千葉市の金融政策を希望する。設備投資をするにあたって資金面での応援があれば新しくすることが出来ると思う。機械等の入れ替えの時期に入っている。従業員の給料部分の値上げ、仕入先の値上げ等、問題は山積み。 |
| 鋼管製造業 | 後継者が育たない。 |
| 金属製品製造業 | ガソリン価格の高騰が経営を圧迫している。 |
| 建設機械・鉱山機械製造業 | 特に円安対策を始めとした、景気対策を最優先事項でお願いしたい。 |
| 生産用機械・同部品製造業 | 仕事量は緩やかに回復してきたが、材料、工具など、購入品の価格は上昇している。しかし、販売（納入）価格は変わらない。 |
| 試験機製造業 | 売上が回復しないため、資金繰りが悪化している。昨年までは補助金などがあったが、今年はほとんどなく、銀行や保証協会も貸し渋っている。こういう時にこそ、政府が補助金を出すべきではないだろうか。 |
| 理化学機械器具製造業 | 緑地法の緩和（従業員増員の為の駐車場が確保できない）。 |
| 電力開閉装置製造業 | 新分野への進出無くしては、存続が厳しい状況。 |
| 娯楽用具・がん具製造業 | 円高へと誘導する策を講じて欲しい。 |

【卸売業】①

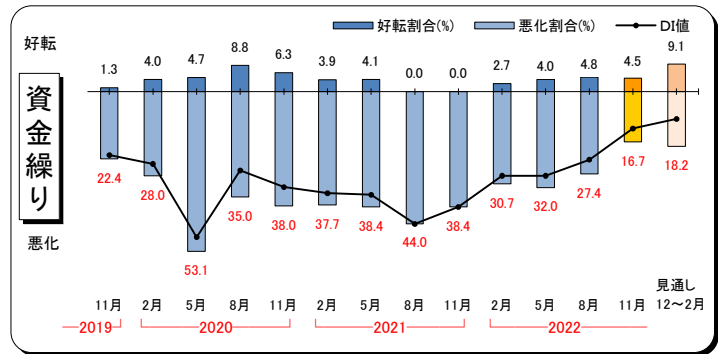
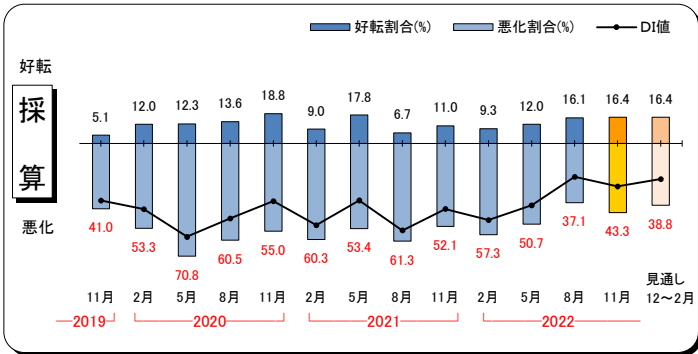
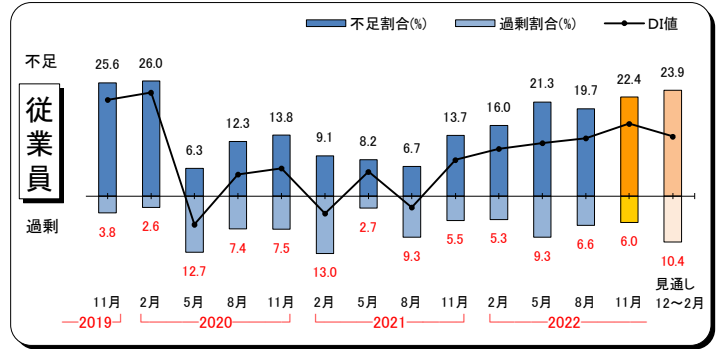
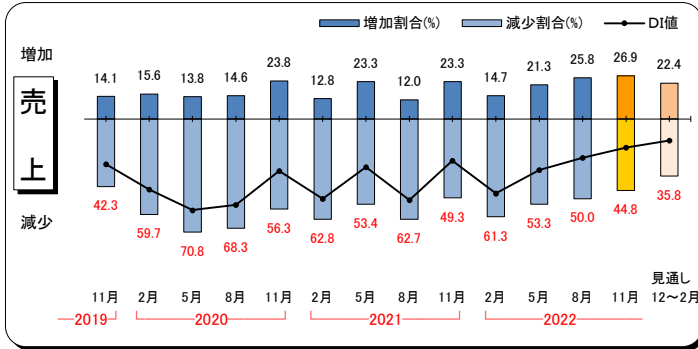
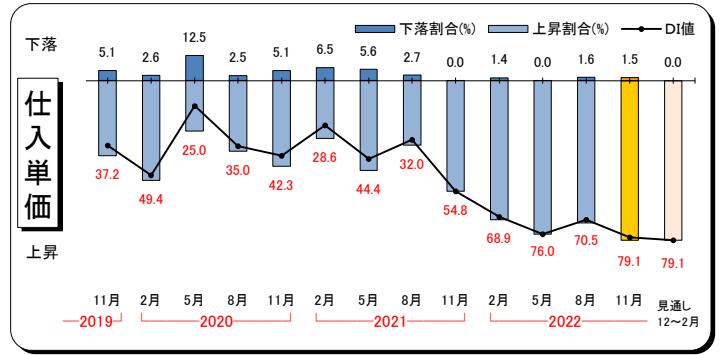
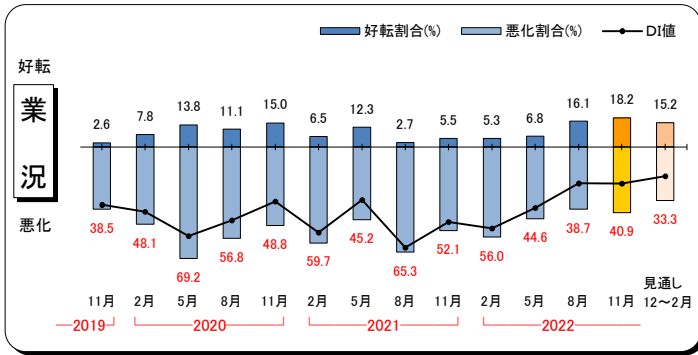


【卸売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

| | |
|---------------------|---|
| 靴・履物卸売業 | 円安が悪影響を及ぼしている。購買意欲が低下し、先行きの景況悪化が懸念される。 |
| 雑穀・豆类卸売業 | コロナショックに続き、物価の上昇により消費の冷え込みが心配である。何か景気刺激策が必要だと思う。 |
| 食料・飲料卸売業 | 店舗移転の為、会社として設備投資が増える見込みだが、それに見合う売上、粗利益が確保出来るかどうか不安。早く、先行き不安の、暗いイメージを払拭して欲しい。 |
| 食料・飲料卸売業 | 消費税の減税。 |
| 非鉄金属スクラップ卸売業 | 良くも悪くも、アメリカの動向が最大のポイントとなると思う。 |
| 事務用機械器具卸売業 | 新型コロナウイルス感染症や資金繰りに対して、補助金を拡充して欲しい。 |
| 電気機械器具卸売業 | 原材料の高騰、製品枯渇による商材の確保、人材不足対策、新型コロナウイルス感染症の動向、補助金対応による打開策の検討等。 |
| 医療用機械器具卸売業 | デジタル化への対応を求められているが、中小企業にはその人材を確保するのが難しい。 |
| 陶磁器・ガラス器卸売業 | 新型コロナウイルス感染症の影響か、食器、調理道具の買い控えがある。 |
| 他に分類されない その他の卸売業 | 輸入商材が中心の為、円安による仕入れ価格の上昇に歯止めがかからない。また、エネルギー価格も高騰が続いているが、販売価格に転嫁しきれない。省エネ対策等の補助金が色々あるが、本社が県外のため対象とならないことが多い。事業所単位で使えるようになると助かる。 |

【小売業】①

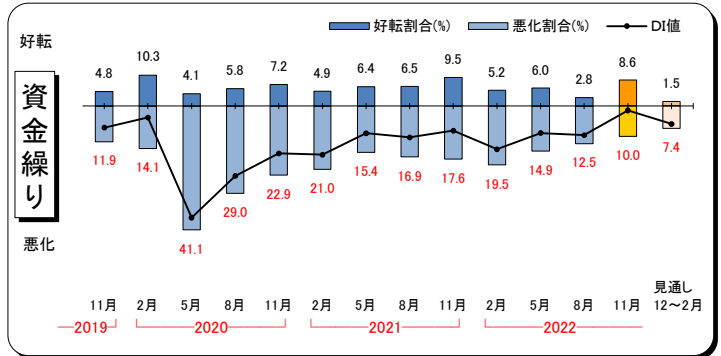
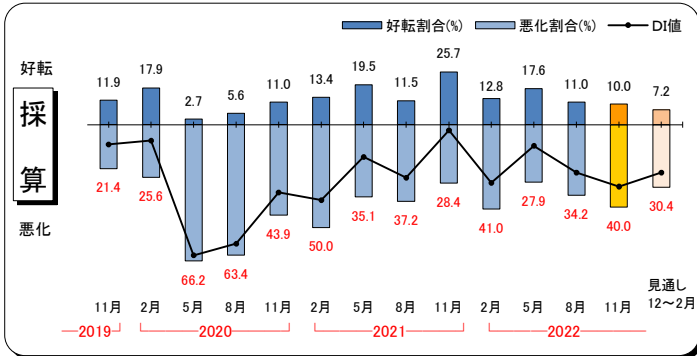
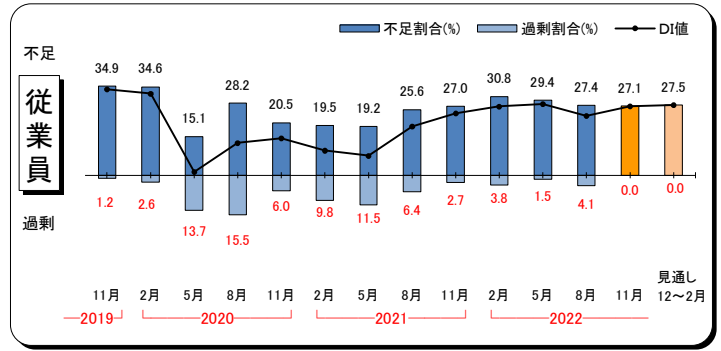
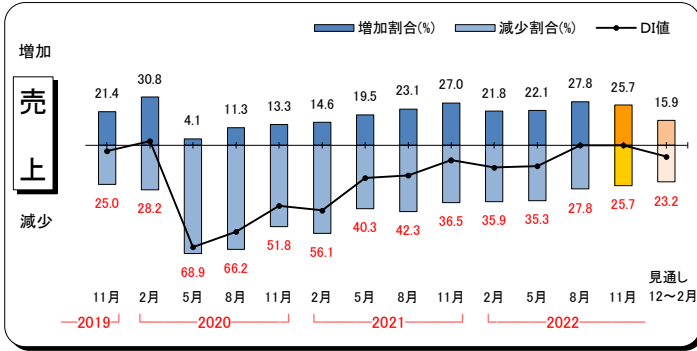
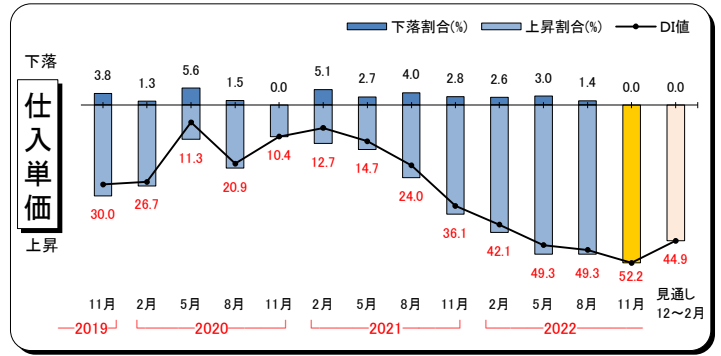
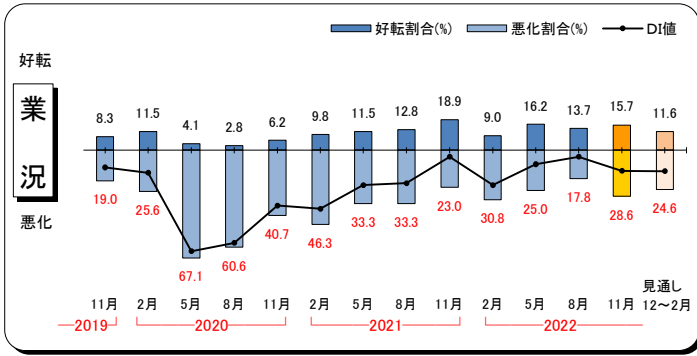


【小売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

| | |
|-------------|---|
| 総合スーパー | 現在、お店を運営するに当たり「人」の部分が非常に厳しい状況。時給を上げても、求人誌を出してもなかなか応募が無い。 |
| 各種食料品小売業 | 新型コロナウイルス感染症からの復活は近いが、もう少し支援が欲しい。 |
| 食料品小売業 | 行政のデジタル化をより加速して欲しい。 |
| 自動車（新車）小売業 | 自動車産業の構造変化と言われるが、電気自動車を普及させる前にインフラをどうするのか、道筋を示して欲しい。水素エンジンの開発にもっと積極的に投資すべき。 |
| 自動車（新車）小売業 | 助成金等を増やして欲しい。 |
| 電気機械器具小売業 | 新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格、物価高騰、円安と、先行き不安なことが重なり、情勢は不安定。 |
| その他の機械器具小売業 | 融資補助を拡大して欲しい。 |
| 医薬品小売業 | 独立した経営の個人薬局も、国・県・市は大事にして欲しい。将来地域に根ざした薬局は要らないのだろうか。 |
| 書籍・雑誌小売業 | 書籍の購入の増額をお願いしたい。 |
| スポーツ用品小売業 | 大手の顧客の囲い込みが加速していると思う。今までよりも小さな案件にも手を出してきている。零細企業に配慮した政策をして欲しい。 |

【サービス業】①



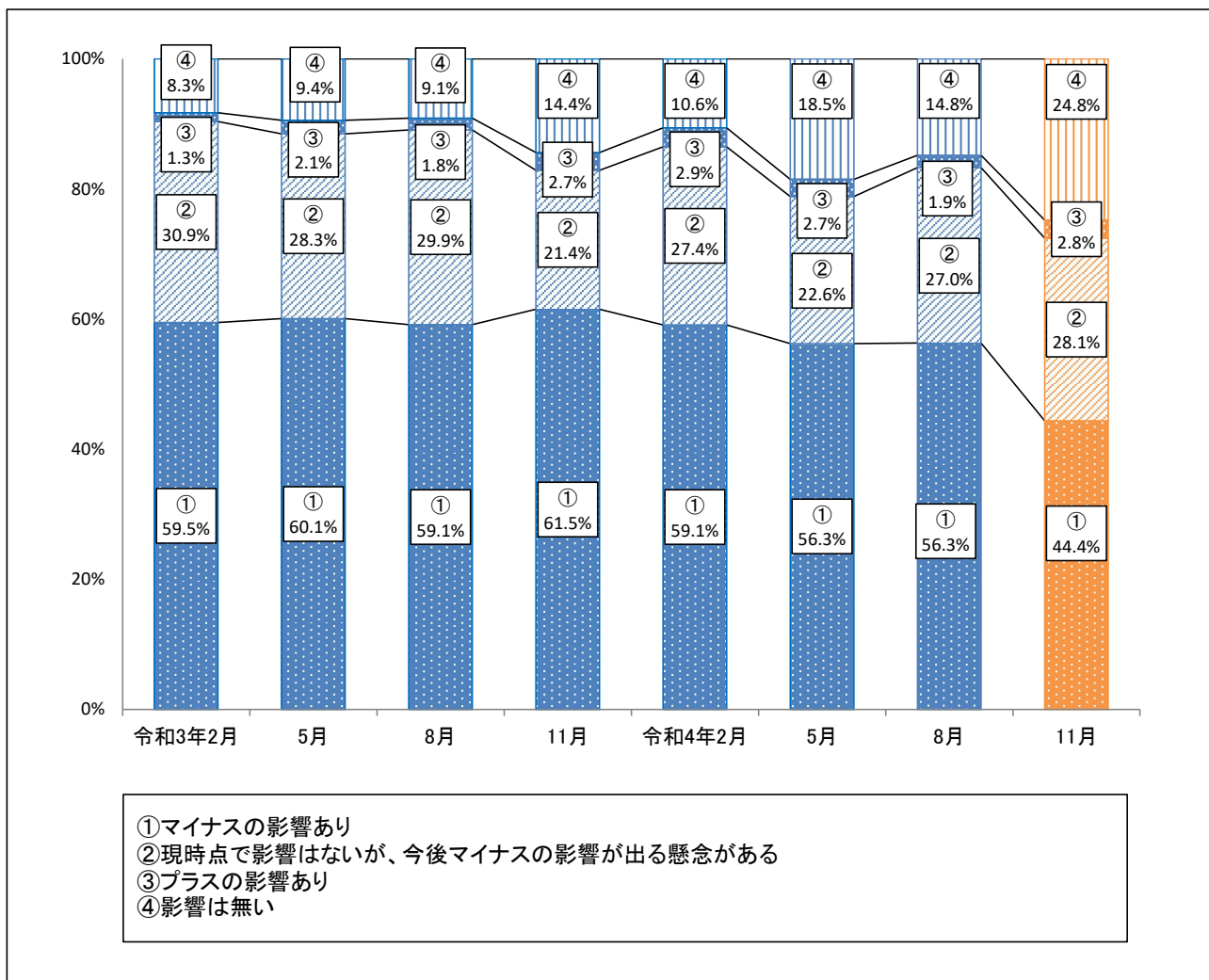
【サービス業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

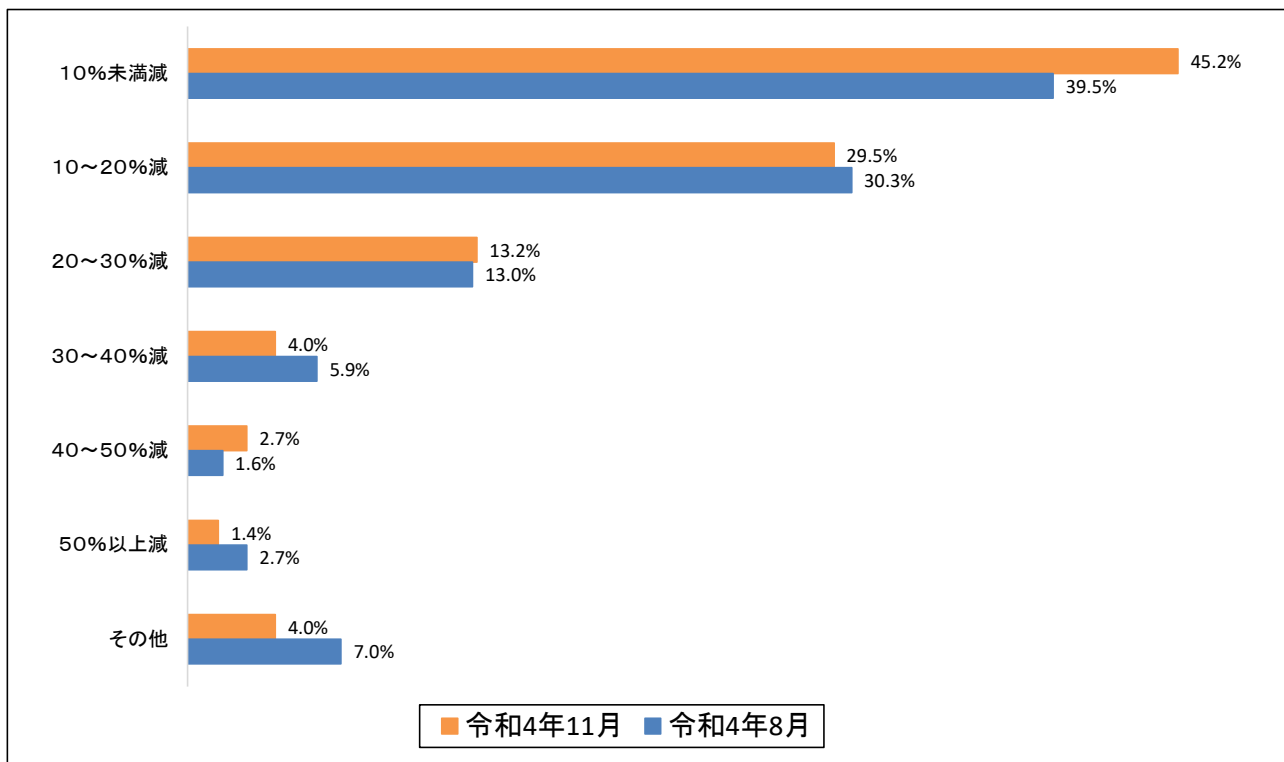
| | |
|-----------|--|
| 倉庫業 | 市道の水たまりがひどい状況なので、改善願いたい。 |
| 運輸附帯サービス業 | 世界経済の動向により、今後大きな変化があるのではないかと懸念している。中小零細は大きな流れについていくのに精一杯。 |
| 建物売買業 | 補正予算も組まれるが、国債の発行に依存したものであり、必要性の有無を今一度検討して欲しい。出生率の改善、育児や教育など将来を見据えた政策に本腰を入れて取り組むことを要望。 |
| 専門料理店 | 円安により仕入れ値（輸入代金を含む）が上昇している。粗利が著しく減少したため、販売価格を上げたが追いつかず、タイミングをみて再度値上げが必要になるものの、値上げしたら売れなくなる可能性がある。レストランの売上・客数ともに伸びているが、客単価は減少。原材料費、人件費、光熱費の支出が大幅に増えているために、利益が減少している。 |
| 葬儀業 | 物価高による仕入れコスト上昇や、最低賃金の上昇や人手不足による人件費の高騰、社会保険の適用拡大による収益力の低下が心配。 |
| ビルメンテナンス業 | 新型コロナウイルス感染症をインフルエンザと同等の扱いにして欲しい。 |

付帯調査結果

「新型コロナウイルス感染症の影響について」
 (1) 自社への影響の有無【択一】

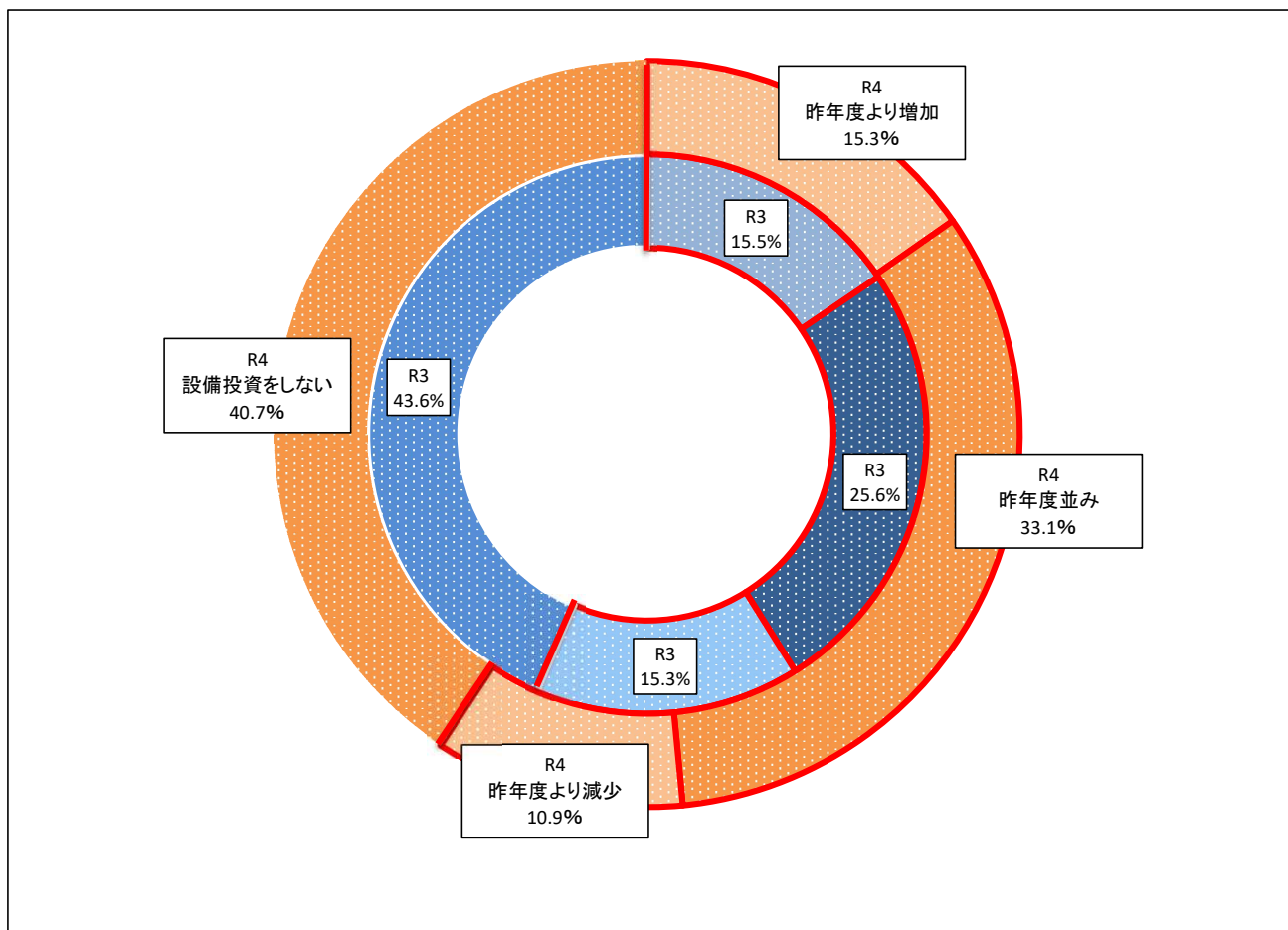


(2) 「設問(1)」で「① マイナスの影響あり」と回答した企業に伺った。 ※11月の売上の影響【択一】

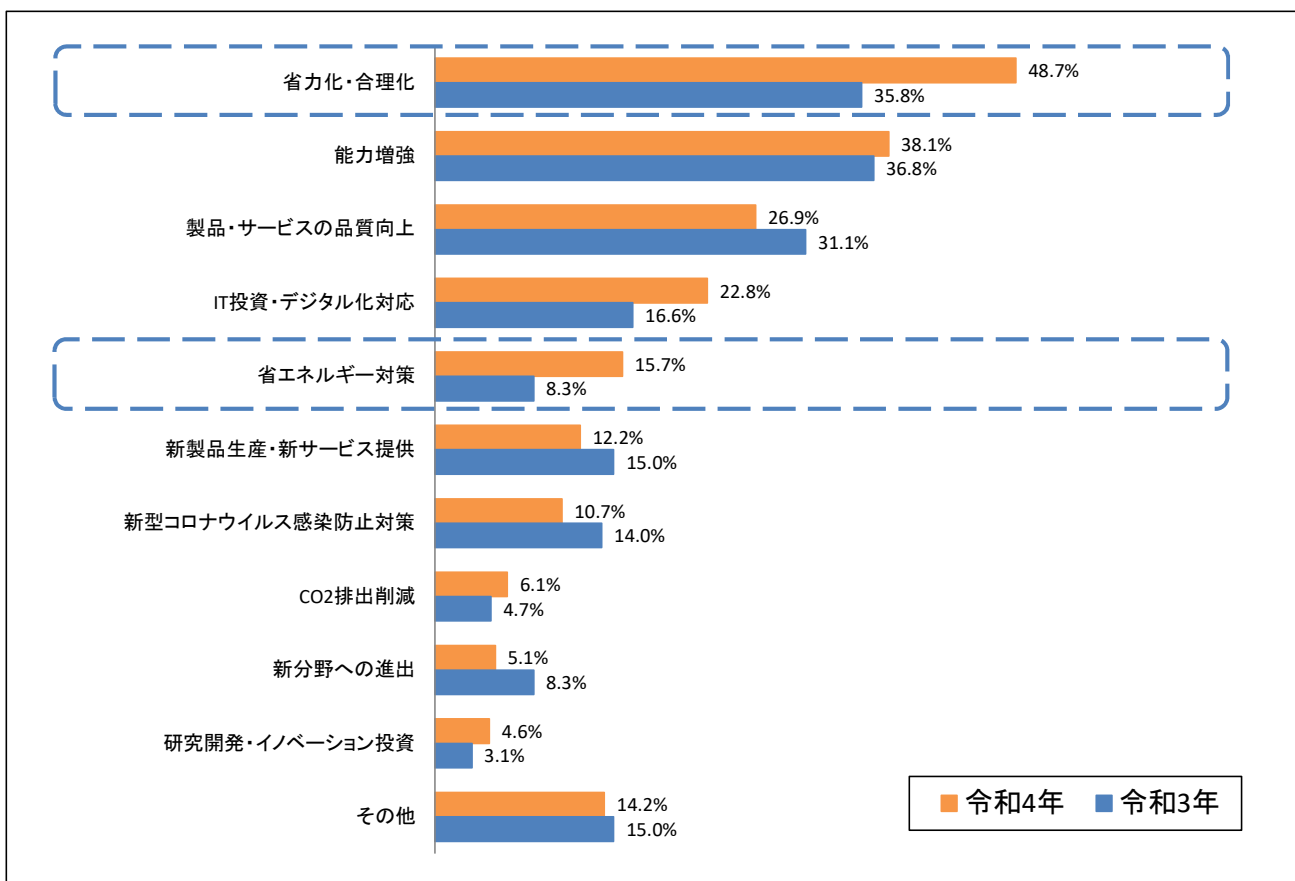


「設備投資について」

(1) 令和3年度と比較した令和4年度の設備投資について【択一】



(2) 設備投資の目的について【複数回答可】



“前年同月比”D1値の推移

(1)業況

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents '前年同月比' D1 values for various industries from 2018 to 2023.

(2)売上

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents sales trends for various industries from 2018 to 2023.

(3)採算

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents profitability trends for various industries from 2018 to 2023.

(4)仕入単価

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents unit price trends for various industries from 2018 to 2023.

(5)従業員

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents employee trends for various industries from 2018 to 2023.

(6)資金繰り

Table with 40 columns (Year, 11 Months) and 10 rows (業種). Data represents working capital trends for various industries from 2018 to 2023.

先行型選型「口」の推移

(1)業況

Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from -38.8 to 11.0.

(2)売上

Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from -33.7 to 11.0.

(3)採集

Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from -13.1 to 11.0.

(4)仕入集

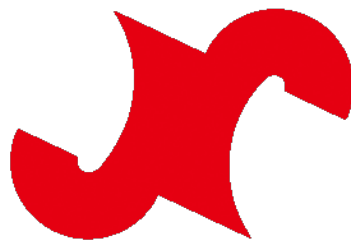
Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from -49.9 to 11.0.

(5)従業員

Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from 21.4 to 27.5.

(6)資金繰

Table with 24 columns (Month-Year) and 12 rows (Industry types: 製造業, 建設, 卸売, 小売, サービス). Values range from -3.6 to 11.0.



【お問い合わせ】
千葉商工会議所
企画経営部 企画広報課
〒260-0013
千葉市中央区中央 2-5-1
TEL: (043) 227-4103
Mail: chosa@chiba-cci.or.jp

